

粟島に降り立った瞬間、
緑と自然の音を感じました

福岡県出身の森ナナさんは、書家の家庭に生まれ、自身も小さい頃から慣れ親しんだ書の道に進みました。現在は国内外問わず、ライブやワークショップ、作品制作など幅広く活動しています。

「港に降り立ったとき、まず目に入ったのはさまざまなかき合いの緑でした。続く

「動物の毛から筆など自分で作ることもあり、自然のサイクルの中で作品も材料も生まれると感じるので、イノシシにも興味があります」と笑顔で話してくれました。

作品を制作していると、
自然に還る心地がする



作家 **もり ナナ**さん

いて波や虫の音が耳に入り、今までにない感覚でした。

島の皆さんにお会いした時、特に印象的だったのは、さらさらとしたきれいな目です。これから皆さんとつながって、いけることを楽しみにしています」

また、森さんが注目しているのはなんとイノシシ。「動物の毛から筆など自分で作ることもあり、自然のサイクルの中で作品も材料も生まれると感じるので、イノシシにも興味があります」と笑顔で話してくれました。

粟島から、アートを考える。

2010年から取り組んでいる粟島芸術家村事業。今年は瀬戸内国際芸術祭 2022 も開かれ、粟島にも3年ぶりに2人のアーティストを招き、粟島アーティスト・イン・レジデンス 2022 が始動しました。総合ディレクターの臼比野克彦さんと2人の作家に、芸術に携わる思いを伺いました。



粟島芸術家村総合ディレクター（日々の笑学校校長）
東京藝術大学 学長

臼比野 **かつひこ** 克彦さん

コロナ禍の今だからこそ、「アートは役に立つ」を証明する

粟島では本来の姿の
アーティスト・イン・
レジデンスが行われている

粟島アーティスト・イン・レジデンス（以下AIR）が始まってすでに12年が経過しました。粟島芸術家村の総合ディレクターで、10年以上粟島と交流が続く臼比野克彦さんに、改めて粟島AIRへの思いを伺いました。

「AIRは古くヨーロッパで城主が芸術家を城に住

まわせ制作活動を支援し、地域の文化振興を図ってきたことが始まりです。

今も世界中でAIRは実施されていますが、場所や空間だけを貸すものも多く、そんな中で粟島AIRは本来の姿にとっても近い。実際に芸術家が、一定期間の間島に滞在し、地域の人と交流して制作活動を行うことで、島の活性化につながります」

またそういったAIRが

可能なのは、粟島の特徴にあるといえます。

「まず、島という限られた空間がAIRに向いています。そしてそれ以上に、粟島の皆さんが私たち芸術家を受け入れてくれる空気感を持っていること。海員学校があり昔から世界に開かれていた粟島ならではの思いです」

アートの価値を証明する
実践の場

「コロナ禍で美術展やコンサート、舞台などが相次いで中止となり、文化活動

『見ること』と『作ること』
同時に起こるのがアート



アーティスト **さとう ゆう** 悠さん

島民の皆さんと
作り上げていきたい

三重県出身で、現在は茨城県を拠点に活動している佐藤悠さん。「伝える」をテーマに、フィールドワーク^{*}などから作品を制作しています。人との対話や発話を重視する佐藤さんは、粟島の歴史や島民の話に興味を持っていました。

「入村式には多くの島民の皆さんが、関心を持って積極的に話を聞きにきてくれました。世代や性別関係なく明るくてユーモアがあ

り、作品もぜひ一緒に作ってみたい」と期待していました。

佐藤さんは近年、美術館や大学などで鑑賞プログラムを積極的に実施しています。「『見ること』と深くつながって、アートに触れることは、それらが同時に起こったり、2つを行き来したりすることだと考えています。滞在中でもそんな体験が起こる表現をめざしたいです」と意気込みを語ってくれました。

は多大な影響を受け、改めて芸術の価値や意味が問われました。しかし、生き物の中で唯一イメージできるのが人間です。ただ生活するだけでなく、創造する時間が必要であり、それが刺激になります。アートはそれを引き出すきっかけになります」

粟島AIRは「人間が生きていく上で、芸術が役に立つ」ということを実践できる場」だと、臼比野さんは、佐藤さんと森さんへエールを送りました。



粟島
芸術家村
入村式

6月1日、粟島芸術家村で入村式が行われ、島民の皆さんが集まり、2人の芸術家を歓迎しました。入村式に参加した島民の松田悦子さんは「作品よりもまず、粟島での生活で人として大きく育ってほしい」と話しました。

粟島芸術家村

これまでの粟島AIR 招へい作家の作品を、一部展示している粟島芸術家村「日々の笑学校」は、毎週土曜日の午後1時から4時まで見学することができます。



▲粟島汽船の時刻表はこちら

※フィールドワーク…現地を訪れ、直接情報を集めること